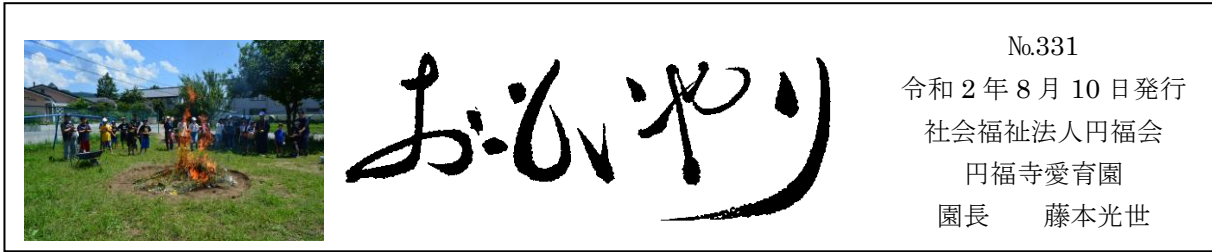


夏休み入りました、キャンプについて次号にて詳しく紹介します。



No.331
 令和2年8月10日発行
 社会福祉法人円福会
 円福寺愛育園
 園長 藤本光世

一学期を振り返って

園長 藤本光世

一学期は新型コロナウイルス感染拡大により学校が臨時休校で始まりました。臨時休校中は愛育園学校で頑張りました。

6月から通学が始まりました。いつものように、みんな元気よく通学します。授業や部活が始まりました。中学に入学した子は新しい環境で成長しようと頑張る姿が見られます。学校はとっても大切ですね。

この一学期の特長として、問題行動が一つもなかったことがあげられます。多分、私がこの仕事に携わった12年間で初めてです。反社会的行動はありません。対外的なトラブルもありません。学校に行かない子は一人もいません。朝寝坊をする子は一人もいません。おまいりに来ない子は一人もいません。朝食を食べない子は一人もいません。食べ物を残す子も一人もいません。

毎朝のおまいりは、30人全員が揃って、しかもみんな腹の底から大きな声を出して般若心経を詠み、朝のお誓いをし、仏教歌（仏の子ども、朝の歌）を歌っています。大きな声は子どもたちの心を解放し、朝の良いスタートになります。おまいりの後は、全員が私のほうを向いて話を聞いてくれます。私の言葉が子どもたちの心に入ります。この日々の積み重ねが、今の子どもたちが健全に努力する毎日につながっていると思いました。

子どもたちは明るく仲良く、その集団に入った一時保護児童は数週間で劇的に変化します。それは驚くほどです。おかげさまで円福寺愛育園の養育が児童相談所や学校の信頼をいただけるようになっていることを感じ始めた一学期でした。

職員のがんばり チームワーク

円福寺愛育園の職員は、とてもよく働いてくれます。子どもたちのために献身的です。それは子どもたちに伝わります。子どもたちは職員心が分かり慕っています。

子どもたちが職員心がわかり慕っているのは、ちょっとしたかわりの様子で分かります。おまいりの前に職員膝の上に乗っています。六年生の男の子が乗ります。中学生の男の子が抱っこしてもらっています。職員まわりに大勢の子どもたちが輪になって集まっています。おまいりが

終わって、「はきものをそろえる」の唱和に行くときに、職員と子どもたちが手をつないで行きます。その光景に信頼関係を感じます。とても微笑ましいです。

心を満たされた子は、愛育園が大好きです。今の子どもたちはみな愛育園が大好きです。職員も子どもたちが大好きです。大好きと大好きとの相乗効果で、子どもたちは良くなります。それが見えるのが嬉しいです。

アフターケア

今月号も卒園児からの手紙を紹介しましょう。大学へ進学した児童です。

先月は手紙が届かなくて心配していましたが、「忘れずに手紙を出していきます。」と書いてくれて嬉しいです。愛育園との絆を切らさないでほしいです。それが、人生の成功の秘訣ですから。

拝啓 梅雨空が根めしいこの頃となりましたが、いかにお過ごしでしょうか。
 まず、先月末手紙を出すことを忘れてしまい、本当にすみませんでした。本当に忘れていました。今月からまた忘れず手紙を出していきます。
 7月は、前期の授業のまとめに入り、期末考査やレポートなどで忙しくなっています。時に、夜中の3時まで課題に追われています。しかし、しっかり朝起きて遅れずに授業に出席しています。まず、課題も期日までに提出できているので、そういった面で単位を落とすことはないと思います。
 また、軟式野球部の活動も再開しました。ここで新しい友人ができ、先輩方とも仲良くなりました。いただいており、充実した毎日を送れています。これでテストが終わると夏休みに入っていきますが、ハメははずさないように、しっかり過ごしていきます。また来月末も忘れず手紙を出すので、宜しくお願いします。

令和二年七月三十一日

敬具

七夕飾り

主任保育士 石崎早織

七夕の季節になり、今年は各ホームの中で3グループ作り、七夕飾りの製作をすることになりました。今回は担当児童と担当職員が同じグループになるようにし、みんなでどんな飾りを作るのか相談しながら行いました。

製作の様子を見ると、どのグループも楽しそうに折り紙を折ったり、こんなものを作った



い！と積極的に意見を出したり、色のバランスを考えて作っていました。それぞれが作った飾りを笹に飾り付け、素晴らしい七夕飾りが出来上がりました！！6本の笹を談話室や食堂に飾り、園の中も一気に七夕ムードになりました。

また短冊にも自分の願いを真剣に書いていました。みんなの願いが叶うように、天に願いが届くように七夕焼きも行いました！みんなの願いが叶いますように！

七夕飾り あおぞらホーム 児童感想

七月十九日に七夕焼きをやりました。はじめに竹を取ってきて飾りをつけました。次は願い事を書きました。その書いた願い事を神様のところに届くように焼きました。ぼくの願い事は、天に届いたのかなと思っています。あと、僕はこう書きました。野球が上手になりたいです。

(小6・R君)

ぼくは、さいしょ七夕に飾るやつを作りました。僕が、1番頑張ったのは千羽鶴です。でも千はできなかつたけど、70羽まで作れました。そのあとに七夕焼きをまた。とても楽しかったです。

(小4・M君)

いつかはおぼえてないけど、この前、七夕焼きをやりました。七夕焼きとは、みんなで作った七夕飾りをとってきた竹にかざって焼くことです。まずお経を読んでから、七夕を焼きました。ゆっくり焼けると思っていたけど、一瞬で燃え尽きてしまいました。楽しかったです。

(中1・R君)



七夕の感想は、飾りを作るのが難しかったです。千羽鶴や長い天の河など、制作するのが大変でした。七夕焼きは、竹や飾りなどをミニグラに運んで燃やしました。竹の水分がはじけて「パァン」という耳をつんざくような、竹の破裂する音がしました。燃えている側にいるととても熱かったです。

(小6・M君)

7月19日、日曜日に七夕焼きをしました。焼くまでに折り紙で鶴や手裏剣などを作り、飾りました。僕の班は、タコさんや鶴、手裏剣とかいろんなものを作りました。1番良かったのは、僕たちで作

ったサイコロとK君が作ったボールです。みんな必死に作り、良いものができました。ぼくの願い事は、テストで百点取るです。そう願って竹を焼きました。どんどんも焼けて天まで登って行きました。願いが叶うといいなと思います。

(中1・S君)

7月11日に七夕をしました。最初僕は折り紙で「タツノオトシゴ」を作りました。その次に「剣」を作りました。出来たタツノオトシゴと剣に紐をつけて、竹に縛って飾りました。

(小3・T君)

七夕飾り まごころホーム 児童感想



7月11日に、七夕飾りを作りました。折り紙で色々な飾りを作りました。私は、織姫と彦星を沢山作りしました。最初は、作り方を見てもあまり分からなかったけど教えてもらいながら作ったらできるようになり、楽しく作れました。他にも貝殻なども作りました。そして、笹に飾りました。とてもきれいに飾ることができて良かったです。みんなで協力して七夕飾りを作り、とても楽しかったです。

(中1・Uさん)

7月11日に、七夕飾り作りをしました。私は初め、星の飾りを作りましたが途中で作り方が分からなくなってしまったので、違う飾りを作りました。色々な飾りを作りとても上手にできました。笹に飾ってみると色とりどりきれいでした。飾りが思ったより多かったけど、工夫し全て飾ることができました。他のグループも私たちが作らなかった飾りも沢山ありどれも凄くきれいでした。作ったり飾ったりとグループで協力し、とても楽しかったです。

(中3・Aさん)

7月11日に七夕飾りをグループに分かれて作りました。各3つのグループに分かれて提灯や輪の飾りなどを作り、笹に飾りつけしました。

私は、ミニ提灯を作りました。小さく可愛い提灯ができました。他にも、天の川を作りましたが、切込みの幅が上手くできず教えてもらいながら作ることができました。出来上がった飾りを笹に飾りました。どのグループもきれいでした。数日後、七夕焼きをして天まで届くようお願いしました。

来年も素敵な七夕飾り作りがしたいです。

(高2・Aさん)

臨時休校中の研究発表会 あおぞらホーム



あおぞらホーム 石龍成己

7月1日臨時休校中に各々が研究したことの発表会を行いました。小学3年生～高校2年生までの子供たちが発表してくれました。大きな紙4枚でまとめたものを5分くらいで発表する為、多くの子供たちは原稿を作ったり、発表の練習をして当日のぞみました。小3のT君も人前で発表するのが苦手で、一生懸命発表の練習を行いました。本番では、少しつまづく所はありましたが、最後まで一生懸命に、ドジョウについて発表してくれました。小6のR君は、発表練習をたくさん取り組んでいましたが、当日原稿を失くしてしまい、部屋で泣いて発表を拒んでしまいました。切り替えるまでには時間がかかりましたが、順番を変えて、何とか最後まで発表をすることができました。

発表を聞いている児童には、感想カードを書かせ、発表の最後に、それぞれの良かった所を発表してもらいました。なかなか他児同士良い所を言い合う機会がないので、とても新鮮な気持ちで聞く事が出来ました。特に小学生たちは、夏休みには自由研究もありますので、弾みになればと思います。

臨時休校中の研究発表会 まごころホーム

まごころホーム 竹内早季

長い休校期間に子どもたちとやった活動の中で一つ題材を選んで研究発表会を行いました。私の担当児童は裁縫でシュシュや小物を作ったこと、調理実習でたこ焼きを上手に焼いたことを発表しています。学校の自由研究のように大きな方眼紙にまとめ、壁に吊り下げて発表をしました。まとめるときに、作ったものの歴史なども調べました。活動も楽しくできたおかげでまとめる時も「こうやったらうまくできたな」と経験から考えることができてよかったです。発表会では1人が発表して、それに対して全員で感想を伝える形にしました。緊張しながらも、互いの発表に興味深く聞く事ができてよかったです。



ホーム食 あおぞらホーム

あおぞらホーム 大山豊彦

7月5日に子供たちとホーム食を作りました。今回のメニューは特大ハンバーグとポテトサラダ、プリンです。はじめに全員で、デザートプリンづくりです。大きなボールに牛乳やプリンの粉を入れ、かき混ぜてから一人一人の器に分けていきました。しかし、その器がとても大き

くてびっくりしました！小学生は大きなお茶碗に、中高生はどんぶりに入れるので、今回のホーム食もお腹いっぱい美味しいものが食べれるのだとワクワクしました。その後は、小学生は、ハンバーグやポテトサラダの具材の準備に入り、中高生は、駐輪場の前にハンバーグを焼くためのBBQセットと食事会場の準備をしてくれました。小学校低学年の子供たちが、ジャガイモや玉ねぎ、にんにくの皮を剥いて、高学年の二人が包丁で、頑張って切ってくれました。最初はうまく切れなかったR君も最後には慣れた手つきで包丁を扱っており、子供の吸収力は本当にすごいなと感じました。

ハンバーグの具を混ぜることに必死なH君は袖にいっぱい具がついてしまい、手伝って下さっていた調理の先生方に指摘されながらも楽しく取り組んでいました。その後はポテトサラダを作る班とハンバーグに乗せる目玉焼きを焼く班に分かれて一生懸命お手伝いをしてくれました。

中高生はというと、ハンバーグを焼く準備の他に、ハンバーグに乗せる鉄板プレートの熱入れもしており、暑い日差しの中みんなで協力しながら取り組んでおり、さすが中高生たちはテキパキと動いていてすごいなと感じました。そしてもういよいよ実食の時になると、小学生には300g、高校生に500g特大ハンバーグがきらびやかな盛り付けとともにプレートに盛られ、圧巻でした。

心地よいそよ風の中、子供たちとこんなに楽しい経験ができてとてもうれしく思うとともに子供たちの輝いた目をみて、また元気をもらうことができました。



ホーム食 あおぞらホーム 児童感想

今日は、ホーム食がありました。あおぞらは、ハンバーグ作りをしました。ぼくのハンバーグは、直径30cmくらいの超巨大ハンバーグを作りました。自分でも食べられるか不安でした。けど、しっかり食べて切っておかわりまでしました。とてもお腹がいっぱいでした。その次に、少し休憩してでかいプリンを食べました。食べるというよりも、ぼくはのみこみました。とてもお腹がいっぱいでした。

(中1・Y君)

7月5日にホーム食がありました。まずは、火おこし、そしてプリンを作りました。粉をボールに入れて、熱湯を入れ、牛乳10を入れて、ひたすらかき混ぜます。ある程度かき混ぜたら、皿に移して、プリンを固めます。次に火起こしに戻って、火の番をしました。富澤先生が僕のハンバーグ



を作ってくれました。鉄板の上に作ったハンバーグを乗せて焼きます。油がはねて、ぼくの腕にあたりました。熱かったです。焼きあがったらステーキ皿に乗せてトッピングをします。そして、ついいただきますです。たくさんの料理があったけど、全部食べ切りました。15時になって、プリンを食べました。トッピングをしたり、チョコをかけたしたりして、たくさんの量を食べました。おいしかったけど、多すぎて残してしまいました。楽しかった1日でした。

(中1・R君)

7月5日、最初にプリンを作った。その後ポテトサラダを作って、こしょうをちょっとおおくしました。食べたらいしかったです。プリンもおいしかったです。ハンバーグを作っている時肉をこねました。作り終わって食べたらいしかったです。

(小3・T君)

7月5日日曜日にホーム食がありました。あおぞらホームでは、ハンバーグ、ポテトサラダ、プリンを作りました。僕たちは、ハンバーグのお肉をこねたりしました。あとはプリンとポテトサラダも作りました。食べたらいしかったです。あんなにおいしいごはんを作る家は愛育園だけです。ほんとうにおいしかったです。

(小4・S君)

ホーム食 まごころホーム



まごころホーム 中村茉莉歌

7月の5日にホーム食がありました。

まごころでは、カレー、ナン、デザート、サラダを作りました。

私は今回幼児さんとナンを作りました。生地を調節しながらこねて焼く前に、手のひらくらいの大きさにのばしていました。

子どもたちも小さな手で一生懸命に作っていました。なかなか上手くできない子もいて苦戦していま

したが、自分なりのやり方でやってみたり手伝って欲しいとちゃんと言える姿もありました。

小学生から高校生は、それぞれに決められた役割で楽しそうに作っていました。

高校生はカレーを煮込んでくれたり、先頭になり年下の子たちに教える姿もありました。小中学生

(令和2年8月10日発行 月刊「円福」479号付録)

も自分から積極的に行動する姿がありました。みんなで協力して作ったのでどれもとても美味しかったです。何度もおかわりをする子が何人もいました。デザートのフルーツゼリーと紅茶ゼリーも一つ一つが大きくて食べ応えがありました。

子どもたちと一緒になにかを作ったり、その作ったものを一緒に食べたりすることで、その子の知らなかった一面が見えたりすることもあります。楽しんだり苦戦したり、子どもたちと大事な時間を過ごせたホーム食でした。

ホーム食 まごころホーム 児童感想



ホーム食は、ナンとカレーとデザートを作りました。私は、デザート作りをやりました。デザートはミルクティー寒天と、2種類の味のゼリーです。私は、ゼリーに入れるもも、パイナップルを切りました。切ったらまぜて、冷やしました。固めているあいだ、幼児さんたちが作ったナンを焼いたり、かたちをきれいにしました。あとは、からあげやたこさんウィンナーをあたためたりしました。カレーをもったあとに、私

がたこさんウィンナーとからあげをもちつけました。上手くもれてよかったです。作ってみて、みんなと協力しておいしいデザートができてよかったです。

(小6・Mさん)

今日は、まちにまったホーム食がありました。作ったのは、カレー・ナン・2種類の味のゼリーとミルクティーの牛乳寒天のデザートとサラダです。私は、ゼリーの担当になりました。みんなと協力しておいしいデザートができてよかったです。ナンもカレーもおいしかったです。カレーは普通のカレーではなく、目玉焼きやチーズにからあげなど、いろいろなトッピングをしました。とてもおいしくておなかにたまりました。また、作りたいです。

(中1・Rさん)

7月5日に、ホーム食がありました。久しぶりのホーム食だったので、とても楽しみにしていました。今回は、カレーを作りました。私は、カレーの作り方があまり分からなくて、作れるか不安でした。でも、調理の先生と一緒にやって上手に作る事ができました。とてもうれしかったです。

カレー班、デザート班、ナン班に分かれ、作り始めましたが、どの班もスムーズに終わり早く食べ始められました。

私はナンを手作りで作ったのを初めて食べましたが、とてもおいしくておどろきました。カレーもおいしくできました。とても楽しいホーム食になって良かったです。

(高3・Yさん)

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

通明小学校との懇談会

まごころホーム 加藤ゆかり

7月15日に通明小学校の先生方と懇談会をさせて頂きました。新型コロナウイルスが流行っている中、今回は会場を体育館に移し、開催しました。全体懇談会では、当園の園長と通明小学校の校長先生からお話を頂いてから、私の方から園の概要説明と、昨年度の卒園式で流した「1年間の思い出」というスライドを流させて頂きました。初めて懇談会に参加する通明小学校の先生もいらっしやいましたので、ざっくりではありますが、当園の様子を知って頂けて良かったな、と思います。その後は、あおぞらホームとまごころホームに分かれて懇談会を行いました。ここでは児童一人ひとりについて園の様子と学校の様子を情報交換しました。それぞれの良いところや課題が分かり、とても良かったです。一部の先生方にはお参りの様子も参観して頂き、夕食も子ども達と一緒に食べて頂きました。子ども達も担任の先生を始め、通明小学校の先生方と食事を共にすることが出来、とても嬉しそうでした。今後も通明小学校の先生方と連携して、子ども達の養育にあたっていきたいと

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

本格的に梅雨に入り、室内で過ごすことが多い生活になっていますが、今月のあおぞらホームは、キャンプに向けて、小学生は楽しみにしていて、中高生は準備を手伝ってくれています。私は今年は例年よりも、愛育園キャンプに初参加の子が多く、経験者の子たちが率先して準備をしたり、キャンプでの思い出を話してみたり、雰囲気を作っているのも、全体として盛り上がっているのが感じます。また、コロナの影響で、これまで例年の全体行事が行えて来れていなかったこともあり、期待しているのではないかと思います。今月号のおもいやりが発行されるまでには、キャンプは行えていると思いますが、怪我無く、無事に行えればと思います

まごころホームだより

まごころホーム 田中沙季

コロナウイルスの影響で、なかなか登校出来きず例年とは違った1学期の学校生活となりました。子どもたちから学校生活の様子を聞くと、去年までなら出来ていたことも出来なくなってしまったと話す子もいます。6年生のTさんが「修学旅行で東京に行くはずだったけど、いけなくなった」と教えてくれました。他にも部活の大会がなくなってしまうなど、今の状況であれば仕方ない事ではありますが残念でなりません。ですが、今年も愛育園の一大イベントである、戸隠キャンプに行けることになりました。どの子と話していても楽しみにしていることがとてもよく伝わって

(令和2年8月10日発行 月刊「円福」479号付録)

きます。班ごとに一日目の昼食と二日目の朝食を何にするか決めたり、班の名前や班旗をどんなデザインにするか案を出し合っていて決めています。子どもたちも積極的に意見を出し合っていて、「旗の下書きいつやるの？」と声を掛けてくれる子もいました。今回は夏休みに入ってしまうので、なかなか準備の時間が少ない中、子どもたちと協力してより良いキャンプにしたいと思います。

調理室だより

調理員 宮沢まき江

今年はなかなか梅雨明けとならず、ジメジメとした日々の中、子供達は毎日元気に学校生活を送っています。

8月1日～2日のキャンプに向け、各班ごとに食事メニューを決め、旗作りなどにとっても楽しみにしながら準備が進められています。

新型コロナウイルスにより、今までに味わった事のない環境の一変した生活の中での行事「キャンプ」はとても子供達の励みになっていると思います。

7月の特別メニューは下記の通りです。

5月：ホーム食が行なわれました。子供達はとても楽しそうに作りあげてくれました。

あおぞらホーム//ジャンボハンバーグ、ジャンボプリン

ポテトサラダ、ほうれん草のバターソテー

まごころホーム//カレーライス、ナン、目玉焼き、ウインナー、野菜サラダ

ゼリー

7日：七夕メニュー

・冷しゃぶそうめん

・七夕ゼリー

15日：通明小学校の先生方との夕食会

・鶏の唐揚げ

・ポテトサラダ

・ほうれん草のごま和え

20日：土用丑の日メニュー

・うな井

・にらたま味噌汁

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

- ・漬物

27日：K君の誕生日メニュー

- ・麻婆丼
- ・レタスとかにかまのマヨ和え
- ・小倉パイ



(令和2年8月10日発行 月刊「円福」479号付録)

【次号は愛育園キャンプについて掲載します】

